第７回韓国大学生日本語ディベート大会論題

※2018年7月3日改変

論　　題

「韓国は車庫証明制度を導入すべきである。」

＜定義＞

車庫証明制度とは、自動車を新規・移転・変更登録をする場合、自動車を保管できる場所（車庫）を確保することを義務付ける制度である。

＜プラン＞

1) 自動車を新規及び変更または移転登録しようとする者は、その登録を申請する際に、その自動車の車庫(駐車場及び駐車施設及び空き地などの自動車の保管に適した場所を言う。）を確保していることを証明できる書類（車庫証明書）を役所に提出しなければならない。
2) 自動車の使用位置(自宅や事業所)と車庫との距離は直線で2km以内とする。
3) 虚偽(車庫飛ばし等)やその他の不正な方法で車庫証明書を提出した場合、300万ウオンの罰金が科され、すみやかな改善を命じられる。
4) 登録時の車庫がなくなった場合や不適合となった場合、また他の用途に使用することが明らかとなった場合には、改善命令が下される。
5) 改善命令(上記３、４)に従わない場合、場合によっては自動車登録ナンバープレートが押収される。
6) 2020年3月1日より施行する。
7) その他必要な措置は適宜行われることとする。

※本論題は、ディベートゲームのために、大会運営委員会が選定基準（https://goo.gl/w8mXVv）に従い検討を重ね選定したものである。

2018年7月03日

韓国大学生日本語ディベート大会運営委員会

論 題 背 景

＜現状・背景＞

前世紀以来、高度経済発展を遂げた韓国においては、富裕層に限らず一般庶民でも自家用車を購入し、維持できるようになった。しかし、韓国では法律上、自動車購入時に駐車スペースを確保して届け出ること(車庫証明)が義務づけられていない。こうした中、韓国では1980年代後半から自動車が急増し始め、1985年には100万台だった自動車登録台数は、2014年には2000万台を超えた。その結果、交通渋滞や駐車場の問題など、深刻な社会問題が発生している。そのため、これまでもたびたび、法律改正の必要が議論されてきたが、駐車場確保の難しさや公平性、そして自動車製造メーカーへの影響などが懸念され、事業用車両を除いては車庫証明制度の実施には至っていない。しかし、唯一、済州島においては、全ての車両に車庫証明制度を適用し、予定より3年前倒しで2019年から実施することになった。

日本では、1962年に義務化された車庫証明制度だが、韓国内での車両の増加に伴う社会問題と、制度導入による経済問題などを比較しながら、その導入の是非を議論してもらう。

＜予想される肯定側議論＞

・路上駐車が激減することによって道路幅が確保され、歩行者が歩きやすくなる、緊急車両の通行妨害が減る、交通渋滞が緩和されるなど、道路の運行がスムーズになる。
・交通事故や自動車同士の接触による物理的損害の発生件数が減少する。
・都市景観が美しく整備される。 など

＜予想される否定側議論＞

・駐車場を義務づけると、都市で生活する一般庶民は車を買いにくくなる。
・メーカーとしては車を売りにくくなり、車が売れなくなると経済が停滞する。
・都市開発上、駐車場スペースを常に考慮せねばならず、計画が難化する。 など

※肯定側はプラン導入によるメリットを2つ以内、否定側は現状維持の立場を取り、プラン導入によるデメリットを2つ以内で提示し、論題の是非を議論してください。その他、ディベートのルールなどは大会HPで必ず確認してください。（https://goo.gl/F0nW4a）

ディベートの目的は、単に討論者の優劣や勝ち負けを争うのではなく、討論に向けて準備し、実際に討論し、討論の経緯を振り返るという一連の過程を通して、語学力や思考力向上とテーマに対するより深い理解を得ること、そして協調性やコミュニケーション能力などを養うことにあります。勝ち負けだけにこだわるのではなく、是非、悔いの残らないようしっかりと準備をし、その過程で得られるものを大切にしてほしいと思います。

2018年7月03日
韓国大学生日本語ディベート大会運営委員会